

1 教育課程柔軟化サキドリ研究事業(通称 サキドリ研究校)について

(1) 事業の概要について

文部科学省では次期学習指導要領において、多様な個性や特性、背景を有する子供たちを包摂し、一人一人の可能性を輝かせる柔軟な教育課程編成を促進するため、「調整授業時数制度」の導入を検討しています。この「調整授業時数制度」を先取りするような形で教育課程を編成・実施し、研究開発を行うことができる学校（サキドリ研究校）を文部科学省が指定し、令和8～9年度に次期学習指導要領に向けた試行を行います。

※「調整授業時数制度」とは？

各学校の判断により各教科等の標準授業時数を増減して教育課程を編成することを可能とし、生み出した時数を他教科等への上乗せや学校独自の活動「裁量的な時間」に充当させることを可能とする制度

(2) 授業時数の調整について

サキドリ研究校においては、教科ごとに10%程度まで時数を削減することができ、以下のA～Cのような活動に充てることができます。

| | |
|----------------------|----------------|
| A 既存教科等への上乗せ | B 教科の新設 |
| C 裁量的な時間 | |
| ア 子どもの資質・能力の育成に資する活動 | イ 教師の組織的な研究・研修 |

2 本校の取組について

(1) 授業時数の調整

◇前期課程 対象教科ごとに時数を3～8%程度削減

◇後期課程 1単位時間を50分から45分に変更

⇒ 削減した授業時数を **A**～**C**として運用

(2) 調整による変更点

A 既存教科等への上乗せ

- ・第3学年以上で実施している既存の外国語活動・外国語科に各学年5時間上乗せし、みらい探究科と関連付けた「みらい探英語」（探究的な英語学習）を設定する。
- ・第7学年の総合的な学習の時間（みらい探究科）に13時間程度上乗せする。
- ・第9学年の技術・家庭科（技術分野）に5時間程度上乗せする。

B 教科の新設

- ・第1学年及び2学年で実施している「グローバルタイム」を新教科として設定し、第1～9学年で英語を系統的に学ぶ。（45分×25時間）
- ・第1学年及び2学年で実施している「みらい探究科」を新教科として設定し、第1～9学年で探究的な学習を行う。（1年：15時間、2年：25時間）

C 裁量的な時間

ア 児童・生徒の資質・能力の育成に特に資する教育活動

児童生徒が自ら課題をもち、探究的に学習を進める時間「**MeDoRe（みどり）タイム**」を設定し、資質・能力の向上を目指す。（年間15～30時間）

イ 教師の組織的な研究・研修等（年間15～30時間）

◆基本コンセプト◆

ここ あす 松東だからこそ 未来をサキドリ みどりの教育

これから生きる子どもたちに、松東ならではの自然や地域資源を生かして、未来を先取りしながら柔軟なカリキュラムを創造し、義務教育学校の特色を生かしたみどりの教育を進めていきます。

Q & A

Q1 学校での生活はどのように変わりますか。

◇後期課程の1単位時間が45分になるため、
前期・後期課程の日課を統一します。

【令和8年度日課表 案（前期・後期共通）】



| 時間 | 内容 | |
|-------------|----------------------------|--------------------------|
| 8:05 | 登校完了 | |
| 8:05~8:20 | プレ活動（前期：あさ活・読書・学習 / 後期：学習） | |
| 8:20~8:30 | 朝の会 | |
| 8:35~9:20 | 1限 | |
| 9:30~10:15 | 2限 | |
| 10:15~10:30 | 長休み | |
| 10:30~11:15 | 3限 | |
| 11:25~12:10 | 4限 | |
| 12:10~12:45 | 給食 | |
| 12:45~13:10 | 昼休み | |
| 13:10~13:20 | 掃除（月水金） | （火・木）学級の時間またはロング昼休み |
| 13:25~14:10 | 5限 | （金）MeDoRe タイム：月2回程度 |
| 14:20~15:05 | 6限 | |
| 15:05~15:15 | 帰りの会 | （水・金）14:30~15:20 委員会・クラブ |

※後期課程のテストは、
特別日課を組んで
50分で実施します。

○下校バス（基本）

1便 : 14:30 (旧 14:50)

2便・広域1便 : 15:25 (旧 15:45)

3便・広域2便 : 夏 17:45 冬 17:15 (旧夏 18:30/冬 18:00)

※一斉下校や5限日の扱いについては、
行事予定表にてお知らせします。

◇前期課程は教科等の時数削減の関係で第1~3学年の週当たりの授業時数を減らします。

第1学年 週あたり 25時間 ⇒ 24時間 第2学年 週あたり 26時間 ⇒ 25時間

第3学年 週あたり 28時間 ⇒ 27時間 第4~9学年 週あたり 29時間 変更なし

※年度途中の調整で若干の変更もあります。

Q2 教科の時数を一部削減したり、単位授業時間を5分短縮したりすることで授業内容が減ることはありませんか？また、学力面に影響はありませんか？

A2 授業内容は原則これまでと同じ内容を扱います。学習指導要領の内容に沿って、内容の重点化や精選を行いながら質の高い授業づくりを研究するとともに、デジタル学習基盤を効果的に活用し、本研究が学力の向上に資する取組となるよう留意してまいります。

先行研究に取り組んでいる東京都目黒区や滋賀県愛荘町の学校では、学力調査や質問紙調査の結果を維持または向上している結果が報告されています。特に、「学んだことを次の学習や生活等に生かそうとする」「自分にはよいところがある」などの質問において顕著な伸びが見られます。

Q3 裁量的な時間（MeDoRe タイム）について、家庭で準備をすることはありますか？

A3 特別な準備は必要ありませんが、お子さんの話を聞いていただけるとありがたいです。「MeDoRe タイム」については、家庭学習とも連動させながら進め、持続的な学習を目指します。また、保護者の皆様を対象としたアンケートも実施予定ですので、ご協力をお願いいたします。

